

水面に映る景色： バブル期の色合いを残しつつ 新たな都市の自然を求めて



2020年5月（東京都文京区・文京グリーンコート）

◆都市の水辺に自然を感じる

文京グリーンコートでは、高層の住宅棟とオフィス棟の間を水景施設で区切られています。その先には、旧理化学研究所用地に残された樹林地の一部が公開空地として貴重な緑空間となっています。

◆水辺を緑地空間の中に自然の気配を

20数年前のバブル期の都市の水景施設は、シャープなデザインに特化していて、人と自然の対話あまり感じられません。もっと野草や小動物が入り込む生態系保全機能が欲しい気がします。

岡村幸二（JRRN会員）